

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 必ず入力してください （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)すべての人に愛情をもって接します。 2)子どもの最善の利益の追求し、保護者の子育てとしごとの両立支援を貫きます。 3)すべてのものを敬い、謙虚さと感謝を忘れません。 4)常に向上心・探求心を持ち学ぶ姿勢を持ち、学ぶことを考えることを怠りません。 5)人には誠を尽くします。そこから信頼が生まれます。ご縁のあるすべての人に誠に尽くします。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	1. 職場内の人間関係において協調性、協力的態度を持つ。 2. 保育士としての使命感、責任感を持つ。 3. 心身共に健康であるということ。 4. 愛と思いやりを持つ。 5. 乳幼児を理解し、保育技術を高める。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください
	「サービスの基本5S」も忘れずに。①スマイル、いつも明るい笑顔で対応。②スピーディ、テキパキと機敏な行動。③スマート、清潔な身だしなみ、スマートなサービス。整理整頓はできているか。④シンセリティー、心のこもった誠意ある対応。誠意、熱意、好意を持つ。⑤スタディ、豊かな知識。自分から積極的に学ぼうとする意欲を持つ。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保護者全16世帯		
調査方法	園児の保護者にアンケートを保育園よりアンケートを配布いただき、保育園へ提出または直接評価機関へ返信いただきました。		
	利用者総数	16	
	利用者家族総数（世帯）	16	
	共通評価項目による調査対象者数	16	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	11	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	68.8	

利用者調査全体のコメント

事業所に対する総合的な満足度は、全回答者11名のうち「大変満足」と回答した方が6名、「満足」と回答した方が5名でした。回答者全員が、「大変満足」または「満足」と回答しており、保護者の満足度は非常に高いです。

「小規模の保育は初めてで、細かくフォローしてもらえたりと助かっています」「子どもも親も、先生、保育園が大好きで毎日楽しく通っています。上の子のときにはじめてお世話になったのですが、次の子も絶対にここに通わせたいと思いました」「子どものことをよくみてくださっているの、本当に感謝しています。保育に関しては何の心配もなくあずけることができます」と好意的な意見がある一方で、「おむつの残りを教えてほしい」「入り口の扉が常に開いているので不安」「行事は、親同伴ではなく保育園側でやってほしい」といった意見もありました。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	10	1	0	0
全回答者11名のうち「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	10	1	0	0
全回答者11名のうち「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	11	0	0	0
回答者全員が「提供される食事は、子どもの状況に配慮されている」と回答しています。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	0	0	0
回答者全員が「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっている」と回答しています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	0	3
全回答者11名のうち「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されている」と回答した方が7名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が3名でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	9	1	1	0
全回答者11名のうち「安全対策が十分取られている」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名でした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	6	4	1	0
全回答者11名のうち「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分」と回答した方が6名、「どちらともいえない」と回答した方が4名、「いいえ」と回答した方が1名でした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	9	2	0	0
全回答者11名のうち「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係がある」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	1	0	0
全回答者11名のうち「施設内の清掃、整理整頓は行き届いている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	9	2	0	0
全回答者11名のうち「職員の接遇・態度は適切」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	10	1	0	0
全回答者11名のうち「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できる」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	1	0	1
全回答者11名のうち「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できる」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	0	0	0
回答者全員が「子どもの気持ちを尊重した対応がされている」と回答しています。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	11	0	0	0
回答者全員が「子どもと保護者のプライバシーは守られている」と回答しています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	0	0	0
回答者全員が「保育内容に関する職員の説明はわかりやすい」と回答しています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	1	1	3
全回答者11名のうち「利用者の不満や要望は対応されている」と回答した方が6名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が3名でした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	1	6
全回答者11名のうち「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられている」と回答した方が3名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が6名でした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、 事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて 意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー1の講評		カテゴリー1の講評を入力してください
	①ICT化により、遵守すべき理念や保育方針もパソコン上に常時掲示され、閲覧できます 当園では、ほとんどすべての業務についてパソコンで管理がされ、職員もパソコンでの業務管理に習熟するように訓練を受け、常に関覧することが求められています。すべての職員がパソコン上で見ることができる管理用の「運営マニュアル」のページのトップに法人の理念、保育理念が配置され、随時閲覧できるようになっています。保護者には入園の面接で理念等が掲載されている重要事項説明書を説明し、手渡しして、承諾書を得ています。また、玄関先にはクレド（行動指針）や重要事項説明書、保育計画や保育課程等が掲示されています。 ②職員会議やパソコンによる伝達、午睡の時間帯等での話し合い等での連携を図っています パソコン上の運営マニュアルには職務分担も収納されており、月1回全員参加の職員会議でも説明し、業務分担表も職員に配布して確認をしています。パソコンの園児管理システムにある管理日誌の中に連絡事項や連絡事項を記入することができるようになっており、そこに伝達や連絡、注意すべき事項を記入して職員に周知を図っています。定期的な職員面談は実施することを予定しています。定期的な職員会議やパソコンによる伝達以外は昼休みか午睡の時間帯に職員		

	に声を掛けて話し合いをしています。 ③保護者には園だよりや伝達が必要な場合にはプリントを作成し配布しています 園における重要な案件は職員会議等で話し合いを行って討議、検討しています。決定された事項はパソコンの管理日誌に記載され、連絡事項で確認をするように職員に伝えていきます。保護者には月1回発行している園だよりでお知らせすると共に、行事等や保護者に伝えていくべき内容があった場合にはプリントにして配布をしています。保護者には園の中に入ってもらい、園内に掲示してあるお知らせやプリントを見てもらっています。		
2	カテゴリー2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点 (○○○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
評価項目2			
着実な計画の実行に取り組んでいる		評点 (○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー2の講評		カテゴリー2の講評を入力してください	

①大幅な人事体制変更で園の再建を図っており、今後本格的なニーズの把握を行う予定です
 昨年（2018年）度4月に園長を始めとして大幅な人事異動があり、新たな体制としてスタートしたばかりなので、保護者からは子どもの受け渡し時や面談、電話等での要望や質問の聞き取りなどをこまめに行っています。職員からはパソコンの園児管理システムを通して、また折に触れての面談で要望の聞き取りを行い、理事長や支部へ報告、相談をして対応をしていました。園としては今回の第三者評価での保護者や職員へのアンケートが本格的な初めての意見収集となります。今後は園として行事後のアンケートや職員への計画的な面談を実施していく予定です。

②法人系列小規模保育園3園の園長が各種の相談や課題への取り組みを話し合っています
 区内の小規模保育施設の連絡会に参加して相互の保育に関する情報交換や行政からの施策の話を聞いています。区からは3歳児の移行の問題もあり通常の保育施設との連携園の通知があり、連携先とは相互の交流を行う予定とのことです。また区が指定権者なので区から様々な情報や指示が送られてきており、それに従った運営も心掛けています。園として対応すべき課題に対しては区内法人系列小規模保育園の3園の園長が月1回、必要があれば随時集まって事業に関する相談や課題への取り組みを協議し、決定したことはパソコンで職員へ周知しています。

③系列園と協働して書式やパソコンの使用についての統一化を図っていく計画があります
 法人としての中長期計画があり、支部や園としてはその計画に従っての単年度事業計画の立案は行っていますが、園としての中長期計画はこれからの課題です。法人系列の3園は元々は法人が別であったこともあり、書式やパソコンの使い方もバラバラであったので、3園の統一化を図っていくことに取り組んでいます。支部に毎月1回、園の状況報告などについて情報交換をしています。理事長や法人本部、系列全園とはSNSで繋がっており、園単位の取り組み状況や課題について共有を図っています。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1（3-1）

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー 2（3-2）

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を速慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織	○非該当

	として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
サブカテゴリー 3 (3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください	
①守るべき規範等は常に閲覧できる環境があり、会議やパソコン上でも指導を行っています 職員が守るべき規範等は、法人の理念やクレド（行動規範）、就業規則に示されており、理念等はパソコン上の運営マニュアル内で随時閲覧できるようになっています。就業規則は支部で説明、指導を行っており、職員会議やパソコン上の管理日誌等で折に触れて話し合いがされています。苦情解決制度については、園の重要事項説明書や園内の掲示板で説明をしています。保護者から訴えがありましたが、事情や状況を聞き取り理事長と共に直接説明を行い、誠実に対応をした実績もあります。 ②虐待については職員への指導、研修への参加、行政との相談等細かい注意を払っています 虐待に関するマニュアルは整備されていて、気になる職員の言動について個人的に相談があった場合には、事情を聞き取り指導しています。区で開催された虐待に関する研修に参加して研修報告は提出してもらいますが、全体で共有するまでには時間が掛かるようです。区の「教育・保育の質ガイドライン」の保育実践振り返りシートを使用して確認もしています。虐待の疑いのある子どもに対して区に相談をしており、行政との関わりも持っています。 ③周囲から希望もあり実習生やボランティアの受け入れ体制整備のための検討を始めています ボランティアや実習生の受け入れはまだ実現していませんが、周囲からの希望もあるので、都内の系列園からアドバイスを貰ったりしながら系列3園共同で受け入れのための体制づくりについて検討をしています。近隣の児童館や図書館の人が2～3か月に1回、お話会とか大きな絵本や紙芝居を見せに来てくれ、子どもたちも大喜びとのことでした。			
4	カテゴリー 4		
リスクマネジメント			
サブカテゴリー 1 (4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○●●○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している		○非該当

	○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
	●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評 カテゴリー4の講評を入力してください ①事故や感染症等のリスクに対して、子どもの安全確保を第一優先課題として考えています リスクコントロールについては、子どもたちに対する安全管理を第一優先課題としていて、それぞれのリスクに対するマニュアル類は整備されています。感染症に関しては、保護者に対して環境衛生と感染症対策に関する手紙を送付したり、子どもが感染した場合には園内に掲示して、集団感染の防止に努めています。事故に対しては散歩の仕方のチェックリストを作って振り返りをし、散歩経路の安全性を調査して散歩マップを作成、掲示すると共に区へも危ない箇所への配慮を要望しています。 ②備蓄の整備や訓練の実施はされていますが、事業継続計画の策定が期待されます 避難訓練は月1回実施しており、不審者対策も並行して行うこともあります。地震対策では近くの避難所を確認し、食料、水、簡易トイレ、ミルク等も5日分の備蓄がされています。しかし、保護者のお迎え訓練は就労している保護者が多い関係上なかなかできないようです。水害等に対しては建物オーナーの好意で7階に避難できるようになっています。災害に対するマニュアル等は整備されていますが、事業継続計画（BCP）の段階には至っていないようですので、法人や支部とも協力しての策定が期待されます。 ③ICT化による情報管理の進捗のため、情報保護を確実にする体制や環境を整えています パソコンによる情報管理を進めている関係上、情報の保護については情報保護規定や文書管理規程等のマニュアルの整備も当然ですが、システム上やハード面でも情報保護については非常に高いセキュリティ対策が施されていて、情報管理の徹底を図っています。個人情報掲載の紙媒体の事務室内の鍵のかかる書庫への格納、パスワード設定、USBやパソコンの持ち出し不可は当然として、パソコン内の情報は本部のサーバーに保管されていることから、園児台帳や管理日誌、ケア記録などの重要な情報の紛失リスクに備えています。			
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5-1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に	○非該当	

	取り組んでいる		
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している		○非該当
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (〇●●〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している		○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している		○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている		○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		○非該当
サブカテゴリ 2 (5 - 2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当
カテゴリ 5 の講評		カテゴリ 5 の講評を入力してください	
①新体制への過渡期ですが、法人も含めて着実かつ早急な体制の整備が必要と感じられます 園長の交替や人事異動は園の活動に大きな影響を及ぼしたわけではありませんが、若干混乱はあったようです。そのため、キャリアパス制度について職員への伝達が不十分との意見もあったので再度支部が職員に対して説明をしています。法人や都内の系列園が行っている執務態度チャレンジシート、自己評価チェック等の実施には至っていないとのことです。大幅な人事異動による新しい体制への過渡期と思われそうですが、法人も含めて着実かつ早急な体制の整備が必要ではないかと感じられます。			
②人材育成を図る意味で研修機会の確保や成果の共有を図るシステムの整備に期待します 法人が行う研修や脳科学トレーニングの研修には参加してもらい資格を得ている職員もいるようですが、外部研修などへの参加は難しいようです。研修計画はありますが、職員個別の人材育成計画にまでは至ってはいないようです。研修			

	報告書も閲覧は可能ですが職員間の共有を図る機会を持つのが難しいようです。東京都が実施している「働きやすい福祉の職場宣言事業所」、区の「ワークライフバランス推進認定企業」となっており、労働条件や労働環境の整備には力を入れて取り組みをしています。 ③困難な中でも保育への意識統一や理念の共有に向け取り組んでいます 昨年度の事業報告書では「職員体制が安定しなかった」「報告・連絡・相談や業務の定着がなかなかしなかった」と述べられており、「保育に関しての意識の統一と法人の理念を身につけられるように」との目標が掲げられています。園では区が定めた「教育・保育の質ガイドライン」の保育実践振り返りシートを使用して業務の意識の統一化に取り組んでいます。系列3園の協力による運営マニュアルの改訂、書式やパソコンの使用法の統一化による業務推進を図る工夫や取り組みをして改善に努めています。						
7	カテゴリー 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 サブカテゴリー 1 (7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている 評価項目 1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その1) 前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ) 法人による小規模保育施設として平成28(2016)年度に区内にある系列の小規模保育施設2園と共に開園しましたが、開設1年目、2年目は、管理部門が機能不全のまま過ぎてしまい、職員もやりにくさを感じ、退職者を大量に出すなど弊害が多々見られる結果となってしまいました。その結果事業が安定せず平成30年度に園長や職員の大幅な人事異動を行って、安定した事業運営を図るために「事業所の理念、足立区ガイドライン、新保育所保育指針を軸に保育を行い、園内外の研修を通して全職員の保育の質を向上させる」ことを目標に掲げました。しかし、現園の状況の把握、現園長赴任時に残されていた保護者からの訴えや行政からの聞き取りへの対応に終始せざるを得ない状況があり、職員体制も安定せず、系列園からの補助を求めています。理事長や支部の上司、系列園の園長にも相談や協力を得ながら、徐々に運営体制を法人と一体となり整備を進めてきました。保護者からも「この園で良かったです!」といった好意的な反応や途中入園や悩んでいた子どもから「先生たちが大好き!」と言ってもらえるようになってきました。 <table> <tr> <td>目標の設定と取り組み</td><td> ●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった </td></tr> <tr> <td>取り組みの検証</td><td> ●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> <tr> <td>検証結果の反映</td><td> ●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> </table> 評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 課題が多い状態からの出発で、過去の負債を元に戻し、保護者や職員から信頼や共感を得ることは簡単にはできなかったことは明白なものと推察できます。昨年度の事業報告書にも「職員体制が安定しなかった」「報告・連絡・相談や業務の定着がなかなかしなかった」と述べられており、「保育に関しての意識の統一と法人の理念を身につけられるように」との目標が掲げられています。「事業所の理念、足立区ガイドライン、新保育所保育指針を軸に保育を行い、園内外の研修を通して全職員の保育の質を向上させる」といった目標に向かって少しずつ運営体制を整備し始めていますが、全職員が一丸となって同じ方向を向いて運営していくにはまだ時間がかかるようです。職員からも園長に事務や管理の仕事を減らして現場に入ってもらふことへの希望があり、園長も少しずつ期待に添うように実践していますが、研修の充実や個別の人材育成計画への移行、人事評価の推進等個人の力だけでは難しい面が多いのではないかと感じます。法人との協働体制により、少しずつ問題解決を図ることが期待されます。 評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その2) 前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ) 熊本にある法人本部ではICT化は10年以上前から取り組み、業務省力化に大きく貢献していることから、東京での小規模保育施設でも導入が	目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった	取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった						
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						

図られ、園児管理システムを始めとしたICT化・業務省力のための書類のデータ化を目指し、園内はもちろん法人全体で情報共有ができる環境を構築することを目標にしてきました。しかし、開設1年目、2年目は、管理部門が機能不全のまま過ぎてしまい、法人が使用している園児管理システム、ICT化に対する理解と習熟度は法人が望んでいたレベルに達していなかったために、園児管理システムの使用方法の指導やICT化への取り組みについて困難が生じていました。昨年度大きな人事異動が行われ、園長も交替しましたが、子ども達の笑顔を守ること、保護者の信頼をしっかりと得ることを一番に取り組んできたこともあり、従来から取り組み進めていくべき課題であった園内のICT化は大きな進展をみることはできませんでした。

目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

昨年度にICT化に注力できなかった部分を取り戻すために、今年度は園全体で取り組み、まだ、書類として対応しているものもありますが、徐々に移行しています。「園児管理システムを始めとしたICT化・業務省力のための書類のデータ化を目指し、園内はもちろん法人全体で情報共有ができる環境を構築する」という目標に対して、職員の多くが基本的な入力業務、保育書類の作成等様々な業務をパソコンを使用し、情報の共有や連絡事項もシステム上で行うことが少しずつできるようになりました。職員もパソコン利用の方が業務処理が速いと感じてきているようです。しかし、園児管理システムの運用に関しては職員間で個人差や入力ミスも多くあり、内容に関してもまだまだ理解不十分な状態で、園長や副園長も入力された内容をチェックし、言葉の統一や文章表現等について逐次指導をしています。また、入力時間の確保という課題については全職員が苦勞していて、業務時間の効率的な使い方を含めて業務改善の徹底を促し、システムへの入力時間の確保に努める必要を感じています。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリ－6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリ－1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリ－1 の講評 サブカテゴリ－1 の講評を入力してください		
	①ホームページやSNSの活用により、利用希望者に対する情報提供に取り組んでいます 保育園の利用を考えている人々への情報提供では、園の運営法人が開設しているホームページの中で、法人として目指している保育について現場の職員が語っている動画を掲載しています。また、運営する各園の詳細ページの中で当園の概要や空き状況と共に、日々の様子を伝える写真や毎月発行している園だよりを添えています。その他、ブログや各種SNSを活用して日常の様子を伝えており、ICTに注力している法人としては、これからも効果的なSNSの活用に取り組んでいく方針としています。 ②情報提供手段の工夫の取り組みは、利用者の利便性に役立っていると考えられます 情報提供手段の工夫として写真や動画を多く用い、読みやすさに配慮したレイアウトにより、見やすさと理解の促進につながっていると考えられます。また、現在増えてきている、日本語以外の言葉を使用する保護者に対しても、よりわかりやすく多くの情報提供を可能としていると考えられます。その他、区の情報誌やホームページ、ワムネット（福祉・保健・医療に関する制度・施策やその取り組み状況などに関する情報サイト）に法人と園の情報を公表しています。新しい情報をわかりやすく伝える取り組みは、利用者の利便性に役立っていると考えられます。 ③見学予約は事前に職員間で情報共有し、園長により見学と説明の対応をしています 見学希望の問い合わせに対し、予約の際に見学者氏名、子どもの月齢、連絡先等を聞き取り、希望の日時に応じています。見学者の情報は、法人として運用しているICTである「園児管理システム」の管理日誌に入力をして、職員間で共有しています。見学当日は園長が対応し、掲示物を用いて園の提供する保育メソッドの取り組みや、お散歩マップに示されている園外活動先などの説明を行っています。また、法人として書式を統一する重要事項説明書は、園ごとに詳細な情報が記載された園のしおりとして運用されており、説明資料として用いられています。		
2	サブカテゴリ－2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握し	○非該当

		ている	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー 2 の講評 サブカテゴリー 2 の講評を入力してください			
①保護者のわかりやすさに配慮したツールにより、保育理念と保育方針を伝えています 見学を経て利用が決定した際には、契約書と重要事項説明書に沿って説明を行い、保護者の同意を得ています。イラストなどによる図示とカラープリントされた重要事項説明書は、園のしおりを兼ねて見学時にも用いていますが、契約時にはより詳細な点をわかりやすく説明するためのツールとなっています。資料内の保育理念、「子どもの最善の利益の追求」「保護者の子育てと仕事の両立支援」と保育方針は法人理念を反映しており、特に重視している部分です。 ②利用開始前は留意事項の把握に努め、職員が連携し安定した利用に取り組んでいます 入園時には、健康記録、保護者の勤務状況、児童票などにより収集した情報をファイリングするとともに、園児管理システム内の園児台帳に入力し、保育にあたる職員は事前に留意事項について情報把握に努めています。また、紙媒体である連絡帳を登降園の際に保護者と園の間でやり取りしながら、特に慣らし保育の時には注意深く子どもの様子を観察し、必要に応じて保育や時間を調整しています。利用開始初期のころは、不安から泣き続ける子どももいると言い、一対一のかかわりの中で安定を図れるよう、職員が連携して取り組んでいます。 ③小規模保育施設としての役割を果たし、幼児の転所先の確保に努めています 当園は2歳児までを対象とする小規模保育施設に分類される保育園であるため、3歳以降の進路に対して子どもごとに多様な対応が求められることがあります。契約を終了する際の規程について、保護者側の都合で途中解約するときには20日前までに退園届を出すこと、特殊なケースでは保護者は文書で通知して解約できることなどが契約書に記載されています。また、「退所に際しては希望に添って幼児の環境変化を勘案して転所先の確保に努める」などの協力連携を行うこととされています。			
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（ ○○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（○○○○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている		○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（ ○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当

●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評 サブカテゴリー 3 の講評を入力してください		
①アセスメント情報はデータと紙で保管され、システム化された指導計画に反映しています 保護者から提出される手書きのアセスメント様式と聞き取りをした内容は、園児管理システムに入力しています。その他、証明書控えなどの書類は、個人ファイルにファイリングし、データベースと紙ベースそれぞれに保管しています。入園時に実施したアセスメントは支援計画の立案に反映するとともに、変更が生じた際に見直しを行っています。指導計画の立案について、園の全体的な計画に位置付けられた保育方針に基づいて、四半期ごとに定める年間カリキュラムとねらい・教育内容で構成し、さらに月案、週案、日案をシステム内で作成しています。 ②保育所保育指針に準拠した計画のもと、日々システムの記録から計画を見直しています 園の全体的な計画では、事業の目的をはじめとして保育理念、保育方針、園の保育目標が掲げられ、各年齢ごとの目標と「養護」「教育」の各領域に細分化されています。計画の各項目には保育所保育指針の各章との関連付けが示されており、保育所保育指針に準拠した計画となっています。また、クラス担任により園児管理システム内の日案に基づく保育の提供の反省・評価を日々行い、週末には翌週の週案修正に反映しています。この他、個別的な計画が必要な子どもに対しては、巡回相談発達記録簿やケア記録を用いて、専門機関と連携して対応しています。 ③記録のしくみの精度をさらに高めるよう、職員のスキル向上に取り組んでいます 子どもの様子やカリキュラム提供に対する結果などは、クラス担任により園児管理システムのケア記録や日案に基づく保育の提供の反省・評価欄に記載しています。また、園児管理システム内の「保護者送迎備忘録」と呼ばれる機能を活用し、送迎時間や保護者に伝えるべき事柄、保護者から受けた話の内容などを記録し、複数の職員が必要な対応を行って結果を共有できるしくみとしています。当園では、しくみの精度をさらに高めるよう、職員間の記録作成と記録の読み取りのスキル向上に取り組んでいます。		
5	サブカテゴリー 5	
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー 5 の講評 サブカテゴリー 5 の講評を入力してください		
①個人情報の取り扱いについて、細かに規程し安心して利用できる園づくりに努めています 子どもや保護者に関する個人情報の取り扱いについて、緊急時の医療機関への情報提供や福祉サービス第三者評価受審など、必要な場合を除いて漏らさないことを契約時に説明を行い、保護者の同意を得ています。これは職員に対しても		

秘密保持義務として、退職後も同様とする誓約書を交わしています。また、園のパンフレットやブログなどに子どもの写真が掲載されることについての承諾や掲載後に保護者側から削除依頼があれば応じることを規程しています。保護者の撮影する画像についても、SNSなどへの公開を禁止し、誓約書を取り交わしています。

②保育マニュアルに子どもの人権擁護について規定し、現場での実践に取り組んでいます

子どもの羞恥心やプライバシーに対する配慮として、園のバルコニーで実施するプール遊びの際には、外部からの視線を遮る処置をしています。また、更衣を行う場所はカーテンで仕切ったうえで、裸にしないようにするとともに、同性職員の対応に努めています。日常的な排泄に際しても、個別に対応し子ども自身の羞恥心を育んでいます。園として配慮すべき子どもの人権擁護に関しては、「教育・保育の基本」として、法人で設置する保育マニュアルに定めています。

③家庭個別の価値観を大切に、子どもの尊厳を損なうことのないよう、学んでいます

園のアセスメント様式には、家庭での習慣や保護者がどのような子育てをしたいか、という聞き取りを行い、システム内の園児台帳に記録し、子どもの家庭個別の価値観を大切にしたい保育の提供に努めています。また、全体の保育計画は保育方針に沿って立てられていますが、保護者の就労や家庭の状況を考慮し、突然の延長保育にも柔軟に対応しています。この他、子どもの尊厳を損なうことのないよう、会議の場で虐待につながる対応について話し合い、外部研修の機会を利用して虐待防止について学んでいます。

6

サブカテゴリー 6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (○○●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
○あり ●なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目 2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー 6 の講評

サブカテゴリー 6 の講評を入力してください

①蓄積をしてきたノウハウを園の運営に活用する取り組みの検討が望まれます

当園では、法人が作成している「運営マニュアル」ファイルを備え、業務の全般的な項目についての基準として示しています。また、職員の行う業務の内容や年間の行事の予定について、契約時に保護者に説明をしている「重要事項説明書」に明記し、毎年更新しています。行政からのガイドラインなどは最低遵守事項として取り組んでいるものの、日常業務のなかでは保育計画に基づく進捗管理が中心となっており、園の標準的業務に立ち返る機会は少ないと言えます。今後、法人として蓄積をしてきたノウハウを園の運営に活用する取り組みの検討が望まれます。

②子どもや保護者への対応は、振り返りを大切に適正化を図っています

子どもや保護者への対応については、園長やリーダー職員層を中心に都度確認を行い、必要に応じて指摘をして適正化をしています。職員間のコミュニケーションは、対話の他、園児管理システムの「管理日誌」と呼ばれる画面の中で、連絡事項として記載され、全職員に漏れなく伝達されています。また、毎月行われる職員全体会議などの各種会議では職員相互に意見を出し合い、子どもの様子や保護者からの要望を業務改善に生かしています。議事録のノートには、議事の処置後に結果の記載を行っており、振り返ることを大切にに取り組んでいます。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（〇〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評		評価項目 1 の講評を入力してください	
①個人発達記録チェック表を用いて、子ども一人ひとりに応じた保育の提供に努めています。 子どもの発達に応じて保育を提供するため、個人発達記録チェック表を用いたチェックを行ったうえで、園児管理システムの個人指導計画に反映しています。結果としての日々の様子はケア記録に記録し、一人ひとりの発達に応じた保育となっているかどうかの確認をしています。発達課題に応じた様々な活動を週案や日案として計画していますが、園外活動などは天候などにも左右されたり、活動を実施した結果がねらいの獲得に至っていない時には、毎週末に実施する週の振り返りと、翌週の計画見直しの際に考慮しています。 ②安心の環境の中、子どもがのびのびと遊びや活動に向かうことができると考えられます 子どもが自発的に好きな遊びができるようにと、園内に収納している玩具・絵本・保護者の手作り玩具は、絵カードを掲示して子どもが視覚的に理解できるよう、工夫しています。また、季節に応じた絵本や図鑑に接して園外活動での自然との触れ合いを行うことにより、子どもが自然のものに積極的にかかわろうとする意欲の向上につながっています。職員は声のトーンや大きさに配慮し、常に温かい雰囲気づくりに努め子どもが安心できるよう、取り組んでいます。このような環境のなか、子どもが伸び伸びと遊びや活動に向かうことができると考えられます。 ③子どもの気持ちや関係性に配慮し、保育に対する多様なニーズに応えています 利用する世帯のなかには、日本以外の生活文化をもつ場合もありますが、アセスメント時に留意すべきことを確認する他は、実際に子ども同士が自然に関わり合うことを見守っています。また、子ども同士のトラブルの際には、一方的に叱るということではなく、経緯や思いを聞き取ったうえで善悪について伝えています。特別な配慮を要する場合は、外部の専門機関の相談支援を利用して対応の検討をして見直しをすることにより改善しています。本人だけではなく、他の子どもも無理なく園生活が送れるよう、職員は仲介や代弁して対応しています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評		評価項目 2 の講評を入力してください	

①登園前のアプリによる連絡や登園時の対応により、子どもの情報を収集しています

当園前の家庭での子どもの様子や体調の確認について、連絡帳機能を持ったスマートフォンのアプリケーションを導入しており、基本的な情報を収集しています。また、登園時には保護者から話を聞くとともに、視診により異常の有無を確認しています。体調不良が続いているなど、前もって懸念がある際には、園児管理システムの保護者送迎備忘録に確認事項を記載し、どの職員が対応しても必要な情報の確認ができるしくみとしており、収集した情報はシステムに記録して、職員間で共有しています。

②発達課題や生活習慣に応じて、職員による働きかけと環境設定に取り組んでいます

食事や排せつなどの生活場面では、子どもの個別目標に応じて発達課題をクリアできるよう、職員が働きかけを行い「自分でやりたい」と興味を引き出すことに努めています。日々の様子はケア記録に記載し、経過を確認しながら生活習慣の獲得に向けたより良い働きかけの工夫をしています。午睡の時間についても、園生活が子どもにとって無理のかからないように、家庭での習慣をふまえて保護者と相談のうえで設定しています。寝付けない子どもに対しても、自由遊びができるコーナーを作って、一人ひとりの過ごし方が叶う環境設定に取り組んでいます。

③年齢に応じた保護者への状況報告とブログ活用による全体の様子の報告をしています

降園時の保護者への伝達についても、保護者送迎備忘録に記載する事項を確実に伝え、システム上では対応後に文字の色が変わり重複や漏れを防止するしくみとなっています。システム入力後に発生した件については、口頭で伝達し、必要に応じて電話連絡を取り合って保護者と園の情報共有を密にしています。1歳児までは、より詳細なやりとりを行う必要性から、連絡ノートを用いて保護者からの相談などに応じたり、個別に面談を行っています。その他、園全体の活動の様子や行事の雰囲気は写真を添えたブログを定期的に更新して伝えることとしています。

3

評価項目 3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目 3 の講評

評価項目 3 の講評を入力してください

①あらゆる機会を通じて子どもの自発性と積極性を引き出す試みに取り組んでいます

全体として計画する設定保育では、一人ひとりの子どもが自ら積極的に関わり遊び込めるよう、個別に働きかけています。また、子どもが自分の好きなことで十分に遊べる時間を、朝と夕方に設けて空間を作っています。玩具は、ままごと、絵本、ブロックなどに分け、片付ける箱には玩具がわかる絵カードを貼っています。この工夫により、子どもは自ら自分が遊びたい玩具を取り出すことができます。このように園では、時間帯や遊び場所、活動の場面などのあらゆる機会を通じて子どもの自発性と積極性を引き出す試みに取り組んでいます。

②初めての社会生活は職員が率先して楽しむことにより、子どもを導いています

家庭内での人間関係から、保育園に通園することにより初めての社会生活となるため、職員が率先して周囲と関わりながら活動を楽しみ、子どもを導いていくこととしています。そのような中、子どもは他の子どもと一緒に関わり、友だちとなって楽しみ、一緒にできたことを喜び合っています。他者と関わる中で必要となってくる言葉の習得については、絵本や紙芝居、歌などを楽しむ、子どもの視線の先にあるものを言葉にして発語を促す、正しい発語で伝え返すなどの繰り返しの繰り返しにより、徐々に話ができるように援助をしています。

③トラブルの機会に社会生活を送るうえでのきまりとその大切さを伝えています

生活習慣上の問題や子ども同士のトラブルが起きた際、職員は社会生活を送るうえでのきまりやきまりの大切さについて、子どもに伝えています。他方、運営法人では、「仕のきまり」と呼ばれる、履物を揃えることや、親や先生の言う

	ことを聞く、などの道徳的な内容を10項目にまとめたものがあります。他園では、掲示して唱和することにより浸透し、効果もみられていますが、当園においては、関係者からの価値観の相違の意見をふまえて検討を行い、使用しないこととした経緯があります。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評 評価項目 4 の講評を入力してください		
	①行事は年間行事計画を基に、子どもの興味・関心を重視して変化させて実施しています 行事について、毎月のお誕生会の他、入園・進級式、子どもの日の集い、ミニ遠足、水遊び、秋祭り、親子遠足、七五三のお祝い、クリスマス会、お正月、節分、ひな祭り、卒園式など、事業計画に位置付けられた年間行事が毎月予定されています。実施までには担当者を中心に子どもや保護者に園内にも掲示物により周知して、協力を呼び掛けて準備を進めています。行事に子どもが積極的に参加できるよう、職員は子どもの興味・関心を重視して活動を変化させて実施しています。 ②園として力を入れている年間行事は、反省をふまえて改善を行っています 保護者のなかには行事の実施について、期待が分かれることもあると言いますが、園としては認可保育園のプログラムの一つとして行事には力を入れていきたいと考えています。特に保護者が参加する行事では、子どもや保護者、職員が一段と協力し合って取り組んで、達成感を高められるよう、役割分担をして進めています。職員は、法人のファイルサーバーに保管する行事企画に関する書式により計画化し、実施後は行事計画書の反省欄に担当者と各クラスの反省を記載し、上長による確認を通じてより良い行事の実施に向けた改善を行っています。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評 評価項目 5 の講評を入力してください		
	①保育時間が長くなる際の、子どもの時間の充実化と楽しみ作りに取り組んでいます 園の営業時間は7時半から18時半としており、短時間利用は8時半から16時半、延長保育時間は短時間利用の前1時間と後2時間の設定とされています。このため保護者の就労時間や場所によっては、10時間に及ぶこともあり、その間のより良い過ごし方について他園との見学交流などを通じて検討がなされています。時間の活用方法として、全体としての活動の時には自由にできない、自分の遊びたい遊具で存分に遊ぶ時間として充てることにより充実化を図っています。また、手作りの補食を提供し、子どもの楽しみにもつながっています。 ②日ごろから関係を築き、延長保育の際にも子ども・職員が安心できる体制をとっています 保育時間が長くなる際、勤務する職員体制が変わらざるを得ないことがあり、なじみの職員と離れることによる乳児や幼児の不安やストレスに対して配慮が求められます。園では、日ごろから担任以外の職員が他の子どもとふれあい、関係性を築いておくことにより、延長保育の職員体制に移行した際にも、子ども・職員が安心して関われるように努めています。また、普段食事の提供をしている管理栄養士も見守りに加わっていることにより、子どもにとってより幅広いふれあいの機会が生まれていると考えられます。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当

	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価項目 6 の講評 評価項目 6 の講評を入力してください			
①食事を通じて楽しさや達成感の高まる関わりに取り組んでいます 子どもにとって楽しみの一つである食事の提供について、楽しい雰囲気の中で食べられるように、会話を楽しみながら食べています。職員は同じテーブルについて見守りながら、「おいしいね」「自分で食べられたね」「すごいね」などの声をかけることにより、楽しさを共感して盛り上げたり、達成感を味わい自発性が高まる関わりをしています。また、食事に集中できるよう、落ち着いた雰囲気の曲をかけていることも、食事の時間をより良くする工夫の一つです。 ②今年度目標の達成に向け、園が一体となって食事の充実に取り組んでいます 今年度の食事に関する取り組み目標は「しっかり食べる子」に育てるとし、栄養管理、食育、衛生管理、栄養給与目標、離乳食についての取り組みを進めています。献立は園に配置する管理栄養士が立案し、調理していますが、毎月の給食会議と離乳食会議で話し合い、PDCAサイクルに基づいてよりおいしく安全な食事づくりに取り組んでいます。管理栄養士は子ども見守りに加わることで、子どもの様子や保育士の視点を共有しています。利用者調査結果では、食事に関する質問に対し、約9割の肯定的な回答を得ていることが成果として認められています。 ③食育の一場面では、家庭的な会話の中でみんなで給食の買い物を楽しみました 食育について近隣の小売店に買い物に行き、食材が調理前にどのような形をしているのかを知って関心を高める取り組みを行っています。エピソードとして、調理の担当者が「野菜がない」と話し、子どもたちが「それでは買いに行こう」というストーリーのなかで、意欲を引き出すことができたという小規模施設ならではの家庭的な一場面がみられています。その他、毎月発行の食事だよりの作成、2歳児に対し自作のパネルシアターにより食品名を紹介、プランターによる野菜栽培と収穫体験・給食での提供など、幾重もの体験の機会を作り出しています。			
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点（ ○○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評 評価項目 7 の講評を入力してください			
①法人として健康の基本となる食事を重視し、子どもの健康維持に取り組んでいます 健康管理について、基準要件上の健康診断の実施と結果の確認、身体測定結果を身体発達記録簿に記録をしています。子ども自身への健康維持の働きかけとしては、手洗いの励行・指導を実施しており、洗面台には手洗い石鹸、玄関と各クラスには手指消毒剤やウェットティッシュなどを設置しています。また、今年度の食事の目標は『しっかり食べる子』に育てるとされており、これは法人の示す方針である、「体の中から生きる力を育む『食育』」、の実践に基づいて設定されていることから、法人として健康の基本となる食事を重視していることがうかがえます。 ②医療的な受け入れ体制を整えていく方針です 医療的なケアが必要な子どもに対して、当園では子どもの主治医と連携を取ることで、発作の持病を持つ子どもの保育に対応した実績があります。原則的には服薬管理は行いませんが、このケースでは与薬指示書により、体調変化の際に薬を与える判断をしました。また、救急対応に備えて予め症状の確認を行い、経過はケア記録に記録して対応しました。今後について、保護者との連絡体制を密にし、子どものかかりつけ医や園の嘱託医などの医療機関との連携を図りながら、可能な限り医療的な受け入れ態勢を整えていく方針です。			
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点（○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目 8 の講評 評価項目 8 の講評を入力してください				
①急な延長保育の要請にも、保護者支援の観点から受け入れに応じています 延長保育については、原則的に前もって申請をすることとしています。就労の事情により電話連絡による急な延長保育の申し込みにも対応しています。また、子どもの体調不良の際には登園が難しくなりますが、重度化している場合や周囲への伝染の心配がなければ、保護者の欠勤できない事情を考慮し、様子をみながら受け入れています。法人理念として、保護者支援を明記しており、一人ひとりの保護者の困りごとに親身に対応を行うことにより、信頼関係を築くことを職員が心掛けて取り組んでいます。 ②保護者・職員・保育園の相互交流の機会を設け、信頼関係の構築に努めています 保護者同士が顔を合わせる機会は、遠足、お別れ会などの行事があります。これらは、年間行事予定やその他のお便りにより周知し、一定数の参加となっています。また、保護者と職員の交流について、登園・降園の際の対話の機会を重視し、信頼関係を高めるべく、子どもの変化など保護者が必要とする情報を着実に伝達することに努めています。その他、週に1回更新するブログ掲載の写真によって活動の報告をしており、園の取り組む保育メソッドの効果に対する保護者の理解につながる取り組みであると考えられます。				
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (○○)			
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当	
評価項目 9 の講評 評価項目 9 の講評を入力してください				
①園庭を持たない園ですが地域資源を活用し、散歩や活動の機会を広げています 園庭を持たない当園では、その日の活動目的に応じて地域の公園や施設などの地域資源を活用して園外活動を実施しています。遊具や砂場での遊びや広場でのかけっこやボール遊びは、子どもの楽しみと運動の機会の確保につながっています。また、草花や樹木、落ち葉など、季節を感じられる体験は、園内での絵本や図鑑、紙芝居などで得た知識との相乗効果を生み出す活動となっています。園外活動で訪れる範囲をお散歩マップとして玄関に貼り出して、内外に視覚化するとともに、外出時の危険箇所なども共有して安全確保に努めています。 ②園外活動では地域住民とのなじみの関係を築き、地域内活動の充実化を図っています 小規模保育施設としては、園内の行事に地域の人々を招くことはスペースの問題から行っていませんが、時折訪れる見学者には園内を見せながら、活動についても見てもらってふれあう機会を設けています。また、園外活動においては馴染みの近隣住民から声をかけてもらう時に、子どもたちと職員が笑顔で挨拶をするなど、ふれあいの場面となっています。この他、ハロウィンの際には仮装した子どもたちが近隣を訪問し、お菓子をもらったり、提携する幼稚園との交流を通じて、地域内活動の充実化を図っています。				

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	地域の中で系列園が連携を行いながら目指す保育の実現に向けて協力を行っています	
内容①	当園には同じ区内に小規模保育施設で同一法人の系列園が他に2園あり、またそれらを統括する支部も置かれています。区内で小規模保育施設が開始されたのが2016年と歴史も浅く、なかなか安定できない運営状況の中での園の運営にとって、これらの存在は非常に心強いものになっています。3園は行事の合同実施や協力、3園の園長による相談や協議、マニュアル等の3園間での検討等様々な場面での協力と共に、日常での情報や経験の交換、相談できる関係づくりを行っていて、それらを法人本部や支部がバックアップする体制も構築されています。	
事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	ICT化による書類のデータ化、情報共有ができる環境の構築に取り組んでいる	
内容②	園の開園以後様々な障害や困難の中で停滞はあったものの、法人が進めてきたICT化による業務省力のための書類のデータ化、園内はもちろん法人全体で情報共有ができる環境を構築していく作業に地道に取り組んできており、職員の多くが基本的な入力業務、保育書類の作成等様々な業務をパソコンで行い、情報の共有や連絡事項もシステム上で行うことが少しずつできるようになってきています。入力時間の確保や職員間での個人差や入力ミス等の問題もありますが、職員もパソコン利用の方が業務処理が速いと感じてきていて、その進展が期待されます。	
事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	「体の中から生きる力をはぐくむ『食育』」方針の実践に取り組んでいます	
内容③	食事に関し、「栄養管理」「食育」など6項目の具体的な取り組みを事業計画に挙げています。小規模保育施設のなかで管理栄養士が調理を行う強みを生かし、献立作成から日常的な食事、おやつの提供、食育の活動を一元的に進めています。このため、子どもを中心とした食に関する知識・体験の提供に一貫性を保つことができると考えられます。また、園長、主任など管理・指導職員との毎月の離乳食会議をはじめ、園一体で取り組むPDCAサイクルは、法人の方針である、「体の中から生きる力をはぐくむ『食育』」の実践として力を入れている部分です。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	新たなメソッドの導入により、根拠を明確にする法人と園の取り組み姿勢が成果として表れ始めています
	内容	当園では、システムを利用した着実な保育のプロセスを進めていますが、これを効果的に支えているものとして、長年取り組む脳科学を根拠としたメソッドがあります。他園ではすでに実績があり、インターネット上では認知されているものですが、当園では、2歳児までの子どもに対して効果的な保育を提供することをねらいとして、新たな脳科学に基づくメソッドを導入しました。今年度は保育士が指導者の養成を受け活用を始めたところ、すでに保護者からの歓迎の反応もみられており、根拠を明確にする法人と園の取り組み姿勢が成果として表れ始めています。
2	タイトル	ホームページから書式、園内の掲示物にもみられる視覚化の工夫は、利用者の立場に立つ法人の姿勢が感じられます
	内容	ホームページは保護者や外部への情報提供手段として写真や動画を多く用い、読みやすいレイアウトとなっています。また、サービス利用時の説明である重要事項説明書は一般的には文章が中心のところ、当園のものはパワーポイント形式により、イラストや図示を用いたカラープリントとなっており、見やすさとわかりやすさの効果が向上しています。園内においては、お散歩マップの掲示や子どもが収納されている遊具を見つけやすいように絵カードを貼り出しています。随所にみられる視覚化の工夫は、利用者の立場に立った配慮の感じられる取り組みです。
3	タイトル	長年法人として福祉活動に取り組んできた理念に基づき、保護者支援を重視し続けています
	内容	保護者の就労上の理由による、急な延長保育の要請にも対応する方針としています。これは、77年前に熊本県で季節保育所として、お寺のお御堂で始めた活動のなかで、子育てをする保護者の支援に力を入れてきたことが背景にあり、現在でもその方針を掲げています。長年の福祉活動に裏打ちされた、確固たる理念に基づく保育事業の推進は、これからの国を支える人をつくることを目標に見据えて取り組まれています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	組織的な業務標準の取り組みにより、地域の信頼を高めるための検討が望まれます
	内容	園の「保育マニュアル」は、運営法人が作成し各園に配備しているものです。内容として、法人理念・法人クレド・法人組織図をはじめとして、園児への対応・職員面・運営面など24項目にわたり詳細を盛り込んでいます。当園では、運営法人が変更となった経緯があり、現在までに園として取り組んできたことと、新たな運営法人の取り組みとの調整・統合を図っているところです。今後、地域の信頼を高めるためにも、園としての業務標準を再確認するとともに、組織的な取り組みとするためのマニュアルや手順書などの形としていくことの検討が望まれます。
2	タイトル	「保育に関しての意識の統一と法人の理念の具現化」を目標として理念に少しずつでも進んでいこうとする姿勢と努力に期待します

	内容	園の開園の初期には運営管理体制がなかなか整わず、職員体制も不安定で保護者にも不安や不信を感じさせる状態でしたが、理事長を始めとする経営層や園長、職員の努力で今回の保護者へのアンケート調査でも総合満足度で「満足」以上が3分の2を占める段階までに至っています。保護者や職員から信頼や共感を得ることは簡単にはできないことであることは明白なものと推察されますが、「保育に関しての意識の統一と法人の理念の具現化」を目標として保育理念の実現に向けて少しずつでも進んでいこうとする姿勢と努力に期待します。
3	タイトル	園の運営方針や取り組み目標を一体となって、体現化する仕組みづくりの構築が期待されます
	内容	昨年度から、園長の交替をはじめ大幅な人事異動があったため、園の運営方針や活動への理解などについて、職員によってバラつきが多少みられることが職員のアンケート結果から推察されます。特に組織マネジメントの自己評価は、リーダー層と一般職員ともに評点は低い傾向を示しています。大幅な人事異動等による影響かと思われますが、少しずつ経営層と一般職員との距離感も近くなりつつあるようですので、園の運営方針を体現化するためにも全職員の思いや気持ちが一丸となるよう、法人との連携体制を強化しながら取り組むことが期待されます。